

2021/11/08 (月)

朝の礼拝

聖書 申命記24章19-22節 (旧約聖書319頁)

畑で穀物を刈り入れるとき、一束畑に忘れても、取りに戻ってはならない。それは寄留者、孤児、寡婦のものとしなさい。こうしてあなたの手の業すべてについて、あなたの神、主はあなたを祝福される。オリーブの実を打ち落とすときは、後で枝をくまなく捜してはならない。それは寄留者、孤児、寡婦のものとしなさい。ぶどうの取り入れをするときは、後で摘み尽くしてはならない。それは寄留者、孤児、寡婦のものとしなさい。あなたは、エジプトの国で奴隷であったことを思い起こしなさい。わたしはそれゆえ、あなたにこのことを行うように命じるのである。

## *Harvest*

英語で「秋」は *fall* あるいは *autumn* といいますが、古い英語では *harvest* でした。「刈り取る」「収穫」という意味です。北半球、主に現在のヨーロッパでは秋の実りに感謝しつつ、無事に春を迎えられるようにと祈りながら収穫したのでした。

近代になって農業から工業、産業革命から資本主義が生まれ何でも商品にしてお金が中心の世の中になると、『レミゼラブル』の宿屋の夫婦や『クリスマスキャロル』の金貸しのスクルージのように欲深い人物が登場します。

しかしこれらの物語にはひとりで子どもを産み育て、働くために娘を預け、病のうちに命を落とす女性、パンひとつを盗んで投獄される男、貧しい民衆と共に闘う青年、また借金を抱える大人たち、盗みを繰り返す子どもたちが登場します。

聖書はすべてを独り占めしないで寄留者、孤児、寡婦のために、収穫の一部をわざと畑に残しなさいと語っていました。それは時代がどんなに豊かになり人間が万能になっても、人間は弱い存在であり互いに愛し合う喜びと感謝は変わらないと伝えているのです。

しばらく黙祷しましょう。

祈りましょう

私たちを励まし、導かれる主よ、あなたはすべての人が互いに兄弟姉妹として愛し合い仲良く生きることが望んでおられます。どうか人々が互いに助け合い、ことに悩み、苦しみ、孤独のうちにある人々が、必要な慰めと保護を受けて、この社会にあなたの心が行われますように。また今日から出発する高校2年生スタディ・ツアーを祝福して、よき学びの時を与えてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン